

事業番号	09 03 05	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	□当初要求	□当初予算案	■補正予算案	□点検
事業名	農業大学校運営事業	部局	農政部	課・室	農業技術課	
		実施期間	T2 ~	E-mail	nogi	@pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

- ・人口減少・高齢化により農業・農村を支える基幹的農業従事者が大幅に減少（73千人（2015年）→56千人（2020年））していることから、意欲ある担い手の確保・育成が急務となっている。
- ・県農業大学校には一定数の県外出身者がおり（29.4%（2023年））、卒業生の県内定着率も高く（2023年度卒業生91%）、県農業を支える人材の呼び込み・育成に貢献していることから、本県農業の次代を担う人材育成機関として、引き続き担い手の確保・育成に向けた継続的な取組が必要である。

2 事業目的

農業改良助長法に基づき、農業の専門的知識・技術及び人格を備えた農業経営者や指導者を養成することで、農業生産を維持する。

3 事業目的を達成するための取組

①県農業を支える人材の確保

当初予算のとおり

②実践的なカリキュラムの構築による農大生や農業者の指導・育成

・スマート農業機械等整備に係る国庫補助事業費が確定したことによる減額

※その他の事業は当初予算のとおり

③関係機関と連携を強化した就農支援

当初予算のとおり

4 成果指標

(推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由	
			実績	実績	推移		実績	推移				
①	農学部 卒業生の県内農業関係職への就職割合	%	92	91	↘		92	↗	95	↙	県農業への貢献をみる指標として農業関係職（就農+農業関連団体・農業関係企業等への就職）に就く農学部卒業生のうち、県内への就職割合を目標値として設定。直近の実績に基づいて95%を目標とする。	
②	研修部 大型特殊免許取得率	%	100	100	→		100	→	95	↙	研修部における農業者の実践的技術の向上を図るため、受講者の多い大型特殊免許の取得率を目標値として設定。直近の実績に基づいて95%を目標とする。	
③	農学部 卒業生就農率	%	55	69	↗		46	↘	67	↙	事業の要となる農学部卒業直後の就農率を目標値として設定。農大改革の主要目標である「農学部卒業生の就農率向上」の目標値から67%を目標とする。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況				目標 年／年度 数値			
				年／年度	数値	年／年度	数値				
2-1①	成長産業の創出・振興	農業における中核的経営体数	経営体	2022 (R4)	10,061	2023 (R5)	10,288	2024 (R6)	11,282	2027 (R9)	10,700
2-3①	地域の建設業等における担い手の確保の推進	新規就農者数(49歳以下)	人/年	2022 (R4)	189	2023 (R5)	172	2024 (R6)	191	2027 (R9)	215
5-3①	高等教育の振興による地域の中核となる人材の育成										

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額	合計 (予算現額)		
R7年度	16,660	102,257	△ 4,133	△ 4,133	114,784	80,530	30.0
R6年度	1,518	92,931	16,660		111,109	67,565	87,084
R5年度	4,029	72,990	1,518		78,537	42,596	70,455

事業番号	09 03 05	細事業一覧（令和7年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	農業大学校運営事業	部局	農政部	課・室	農業技術課	

細事業No.	細事業名	R5年度予算現額	R6年度予算現額	R7年度予算
1	農業大学校運営費	49,651 千円	53,627 千円	予算現額 57,570 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	農業大学校運営費	直接	・総合農学科の学生に対して、農業に関する知識と技術の修得を図るため、実践的な講義や実習を通じた教育を実施 ・総合農学科生80名を指導	

細事業No.	細事業名	R5年度予算現額	R6年度予算現額	R7年度予算
2	実科・研究科費	9,052 千円	8,922 千円	予算現額 8,178 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	実科・研究科費	直接	生産基盤を持つ農家出身者を主体に、栽培技術の習得及び就農促進のため、農業関係試験場での実習を通じた教育を実施 実科・研究科生40名を指導	

細事業No.	細事業名	R5年度予算現額	R6年度予算現額	R7年度予算
3	研修部費	11,446 千円	13,632 千円	予算現額 16,280 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	研修部費	直接	就農者を確保・育成するため、里親前基礎研修や農業機械利用技能研修を実施 農業機械利用技能研修を12回開催	

細事業No.	細事業名	R5年度予算現額	R6年度予算現額	R7年度予算
4	農業大学校施設整備費	8,388 千円	34,928 千円	予算現額 32,756 うち今回 △ 4,133 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	農業大学校施設整備費	直接	・実科・研究科生の生活環境を整えるため、学生寮の電気設備を整備 ・総合農学科生の学習環境を整えるため、農業機械及び設備を更新 <u>（今回補正：国庫補助事業の内示額の減額により、整備内容を精査）</u> 学生寮の電気設備工事実施 1か所、コンバインの導入 0台 環境制御型ハウスの導入 1棟	